

百
富
士

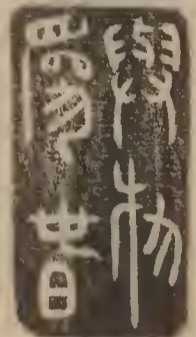
江
府
中

49.

269

300

叙



劉宗周

卷之三

山水

一

天

笑竄之岳高峻勝際甲於天

不絕頂接天盛夏封雪故古

今畫家無不寫之以供展翫

者其間名於世者亦不復鮮

矣或圖春景或寫秋景後某

山而望者從某野而觀在帶
月雲者帶風雨者帶朝霞者
帶暮霧者無不具體而出者
唯是蒞筍之挂息天也各地
異觀四時殊景朝暉夕陰烟
雲出沒容態變遷奇觀世窮

在畫家亦致意于此古亭主人
君錫風流佳致衆技兼善畫
居其一焉壯好孝游足跡半
天下以故每觀芙蓉秋色景於
名處即就揮毫焉漸次累功
殆盈百數比之諸家豈惟每

體有美趣所謂該象未嘗因
及者亦如取諸囊底至善尺錫
所為專在於師造化而已今也
悉命之剗剗氏并取古今所
寫其殊絕而當意者摹擬以
雜其間因諸當世作者各就

其圖而題詠之嗚呼俾覽者
不出戶庭烟雲山色彷彿在
於几席間無濟緣之具而有
登臨之樂豈不愉快乎甚或
欲圖寫其宏勝景者取途於
此亦以難為之者是為序

丁亥秋日

柳洲田謙之題



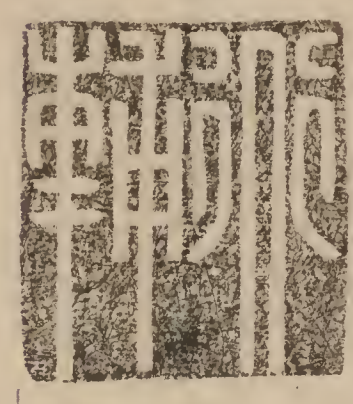
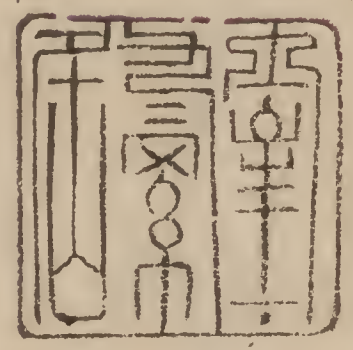
高き家一、毛如海士、此祢ハ
り程の大和乃、強人、かまは
より、て、う、れ、の、葉、終、つ、海、の
と、木、尾、を、赤、芝、山、麓、を、く
奉、ふ、い、い、を、海、あ、ら、一、あ、ふ

東都乃隱士河村良書に
遊心画よりあそぶるを風雅の
人の居る武蔵呼ぶるを
始として由字此海より杖塔寺
高の身坂より馬坂と見え
風景を寫す物より好しとら

わは甲斐の縁農家や由士いざ
よむ我々金山の之れ也ハ
おし宿の遠くお然れ晴天乃
七十二草花谷より趣く
そこの如くみよるは僕共此
意知小しとて此むとらる

又似し孝依之なり孔序と
あへ高き辞せん

芙蓉峯隱士義松書と書面



百留士序

和歌の体一陰字一世よりまじりたる名も多し
中にも夏よりぬ書写の如く人の園海くすして
名も、通るなりと稱ふる世に、かた多くとは、括はる田よか
じ、此の如く、海合せらるる名も、又さるる、かた多り、出ぬれ、写
陰より、代ひ、さるる、とを、世探、通、名、歌、の、中、し、る、さ
去秋、乃、早、不、く、乃、初、を、あ、ら、め、い、ら、ま、る、相、し、る、れ、

後の画工ありくも、おきそく、さうりそまの地い川此京に
わきと、まじり、おしくみ、な、氣、画、た、ふ、ゆ、と、地、先
その家此法則乃まにわあ、と、や、の、ま、画、を、ま、ふ、と、た、く
あ、の、性、質、格、り、ま、の、う、か、の、名、前、の、う、ま、
か、あ、ま、は、ま、京、乃、似、る、と、ふ、さ、ら、と、又、ま、の、音、の、ま、
ま、収、め、た、ま、を、く、ろ、ま、び、の、い、り、こ、く、一、然、二、乃、
ま、人、も、や、く、さ、り、の、お、と、る、ら、う、と、あ、ま、か、ま、た、ら、の

は、く、う、ち、ま、り、も、格、を、ま、ま、の、ゆ、ま、ら、ま、の、ひ、の、あ、ま、
ま、り、あ、ま、は、ま、面、影、う、り、わ、く、れ、ま、あ、見、え、ま、く、一、
け、ま、ひ、ま、の、あ、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、り、画、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

とく梓のひらりと南さきいけ一帳とあそぶと
ひらりと北さきいけ一帳とあそぶと
しほのうらみとあそぶとあそぶとあそぶと
あそぶとあそぶとあそぶとあそぶと
あそぶとあそぶとあそぶとあそぶと
あそぶとあそぶとあそぶとあそぶと

の和也丁亥年坂乃吉月望日菊洲の初後休香室

あそぶとあそぶと

百風立

武藏野



中

つる

予る々尾草や

新の富士

雀村主

素齋





日本橋

揚涼

富士くらしき

糸の魚

花徑



駿河町

富士原一

裾井小治く

鳳城下

朱雁





御茶水

富士の

ふもと

御茶の水

如岡

聖堂





駿河臺

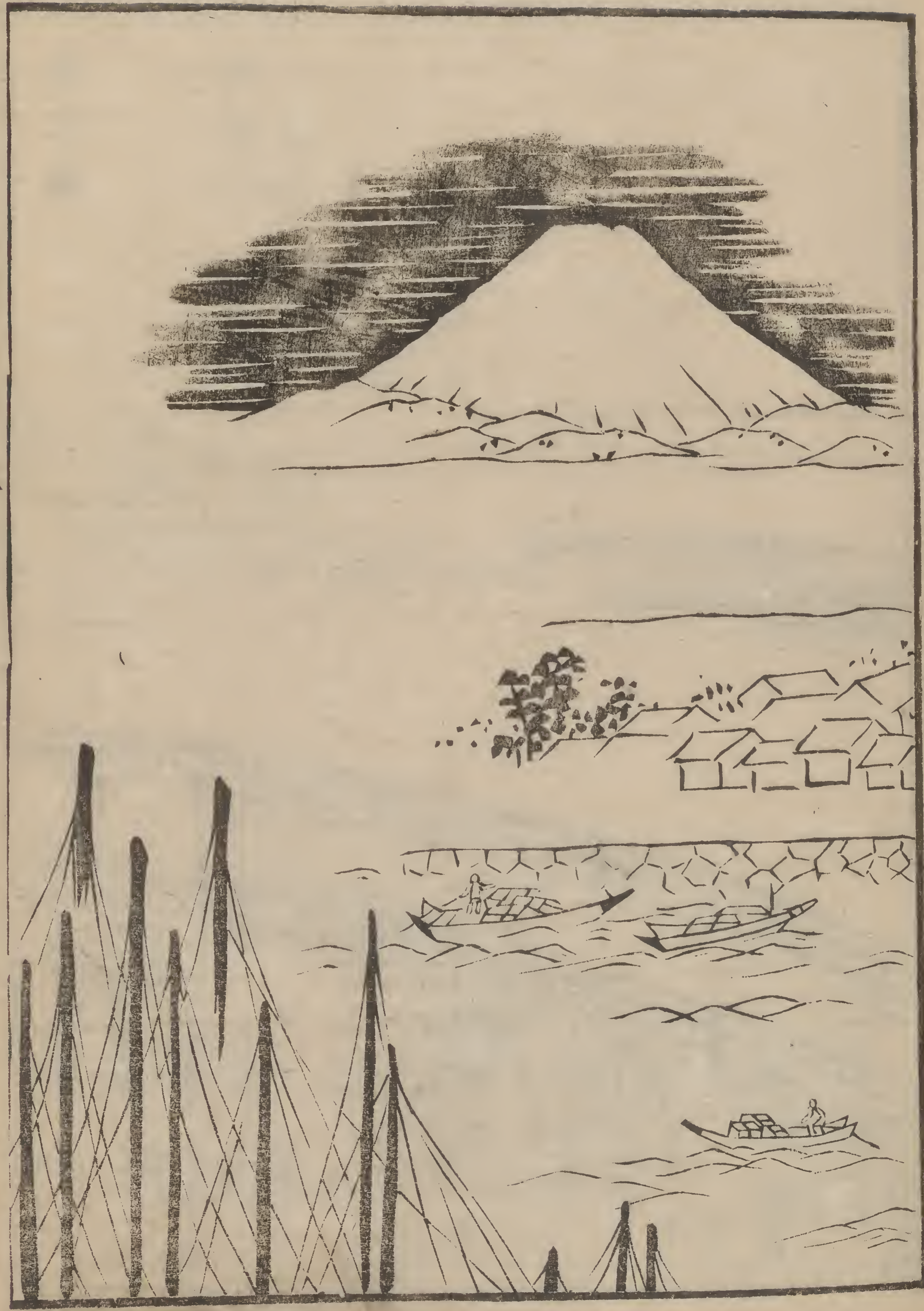
富士の松や

さうくとまの

まのこの

兎米





永代橋

富永入原
日柳も所橋の上

橋下



新大橋

楊杭の 泉之

間こゝ小

富士や

源こゝ舟





兩國橋

之國と

崎く

山見て

橋原一

百壺





石川鳥

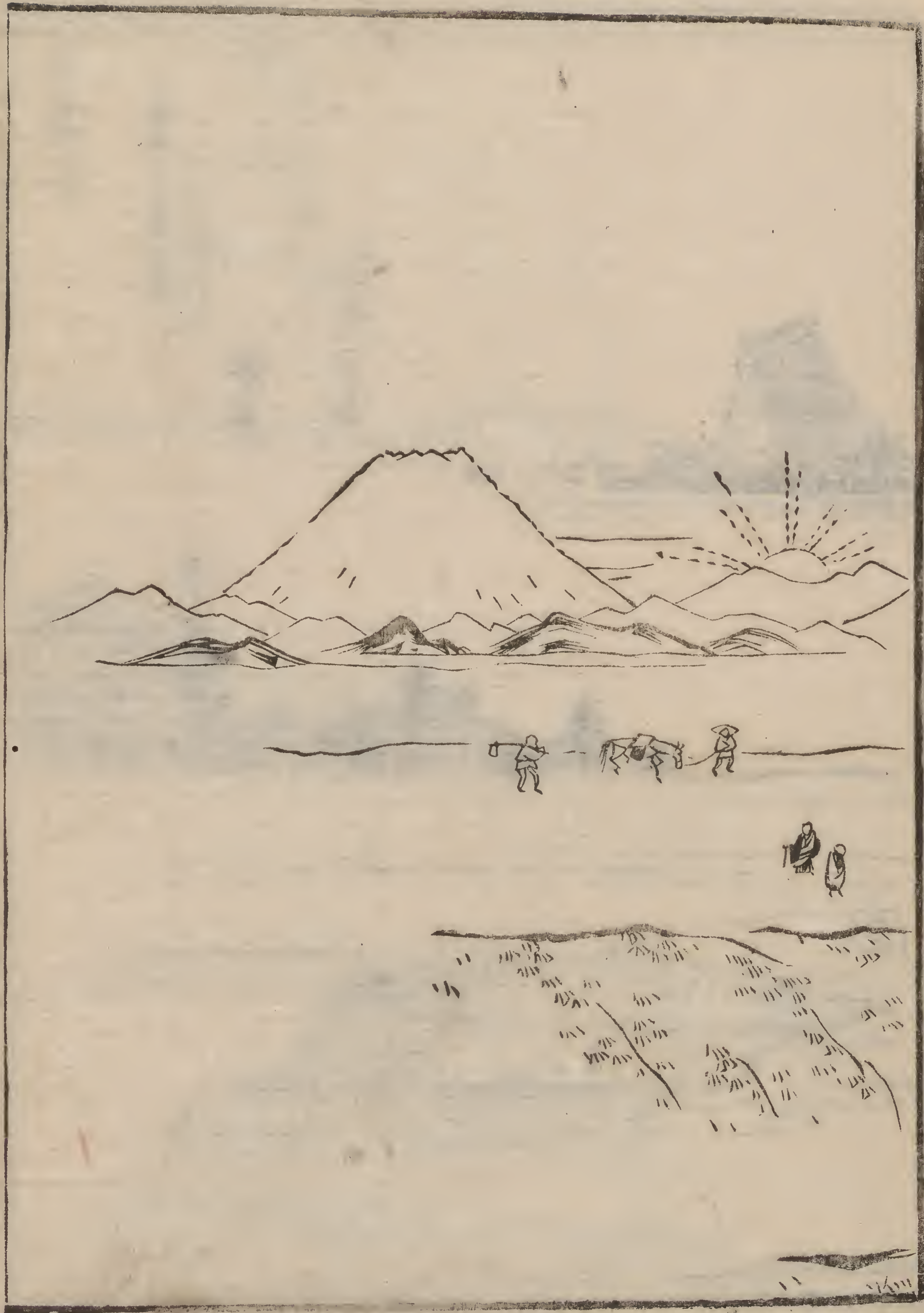
芳晴打々

不二と後より

うらや船

鷺洲





三圍山

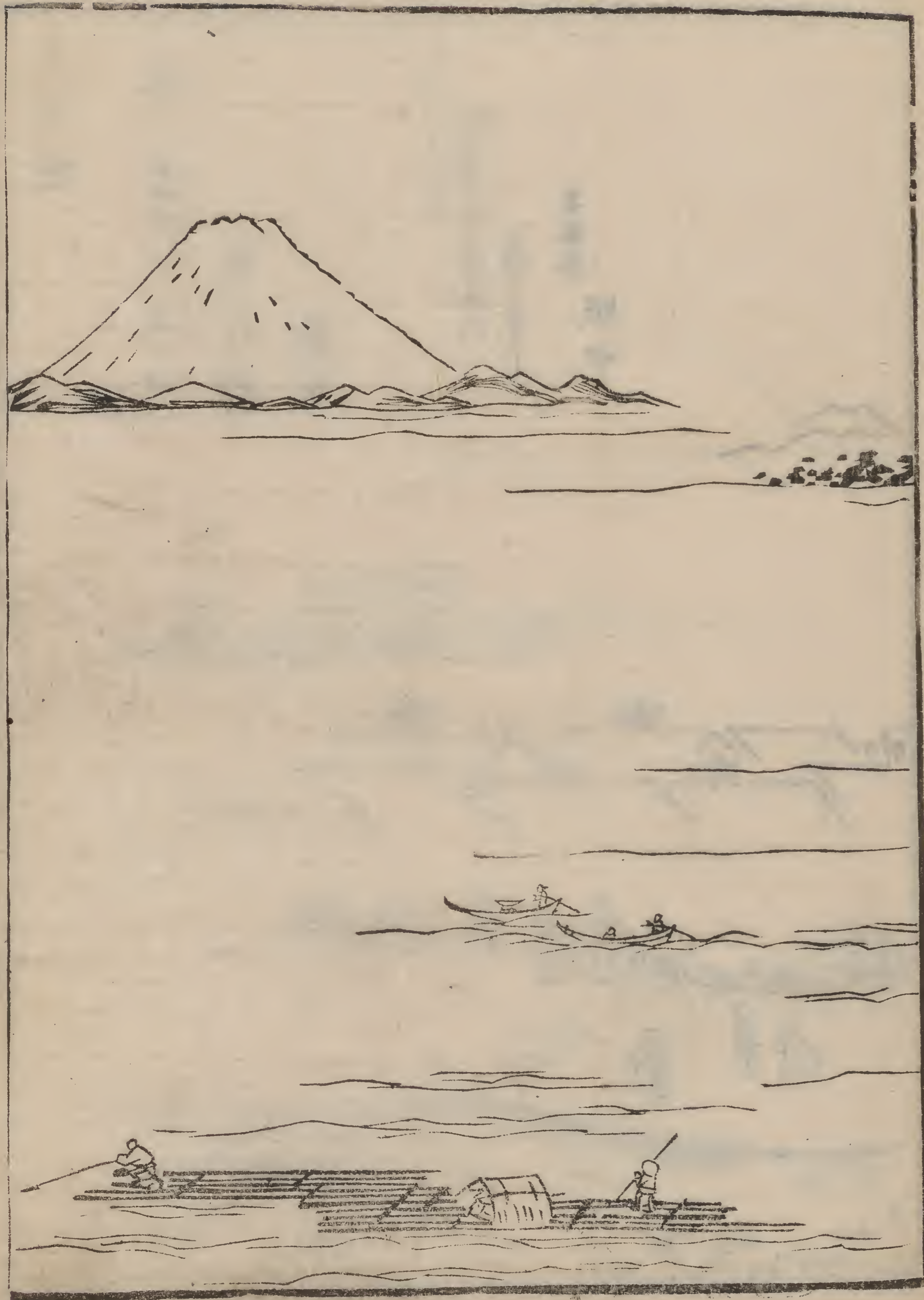
富士と四ノ

三ノ

大峯の

春江





玉蔦山

玉蔦山香堂の
一茶あゆむ

寒月

涼しきや
月日冷やしく

雪生のかき





日本堤

風と富士と後や

雲の終

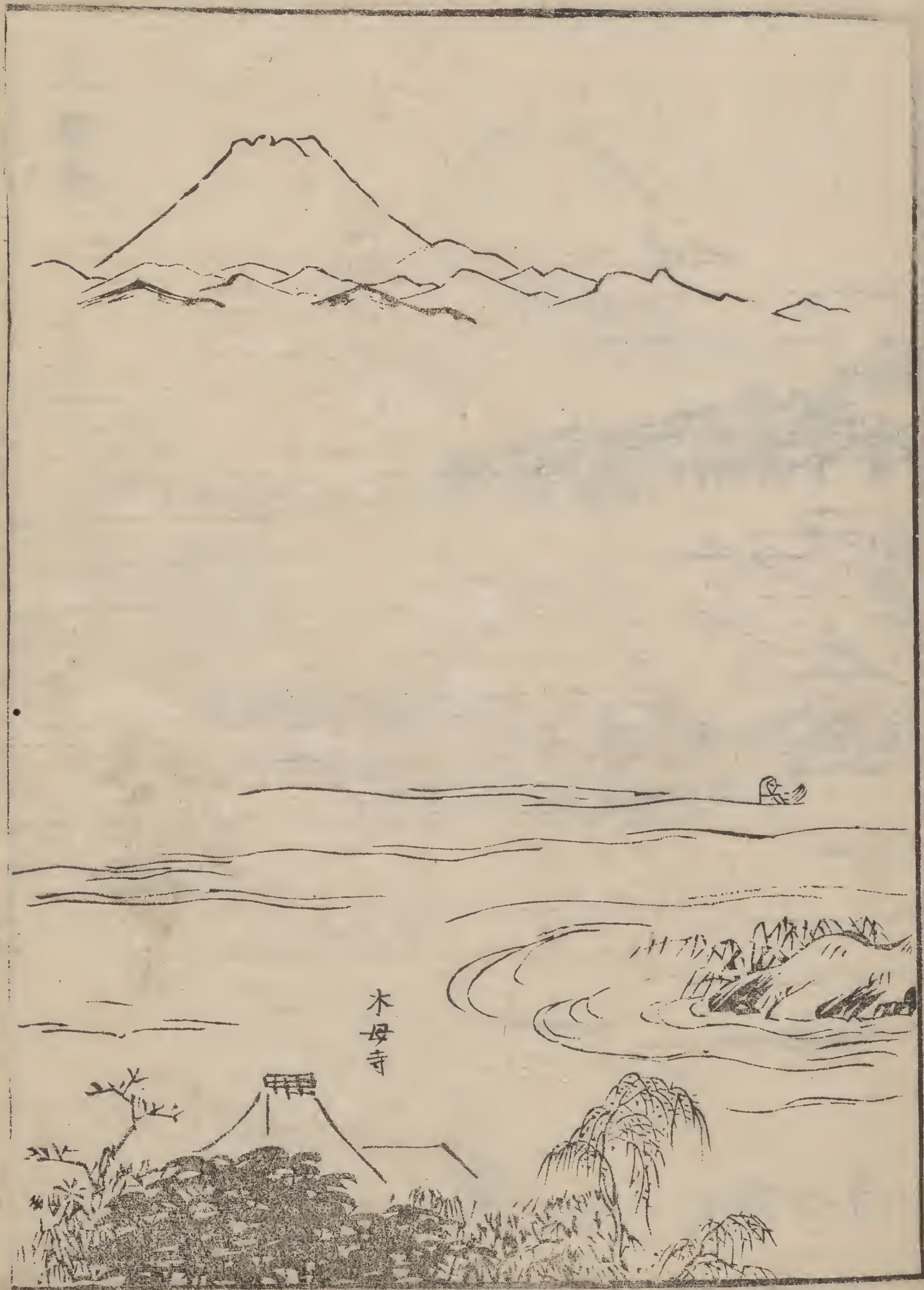
蘭室

のりも名い
後や富士の

終り

喜夢亭
眠中





隅田川

関屋里

富士の秋のまふ
 こゝろさうじをま
 やうく園やの
 さくらさくらん

黙守菴

宗朝



綾瀬橋



綾瀬

千

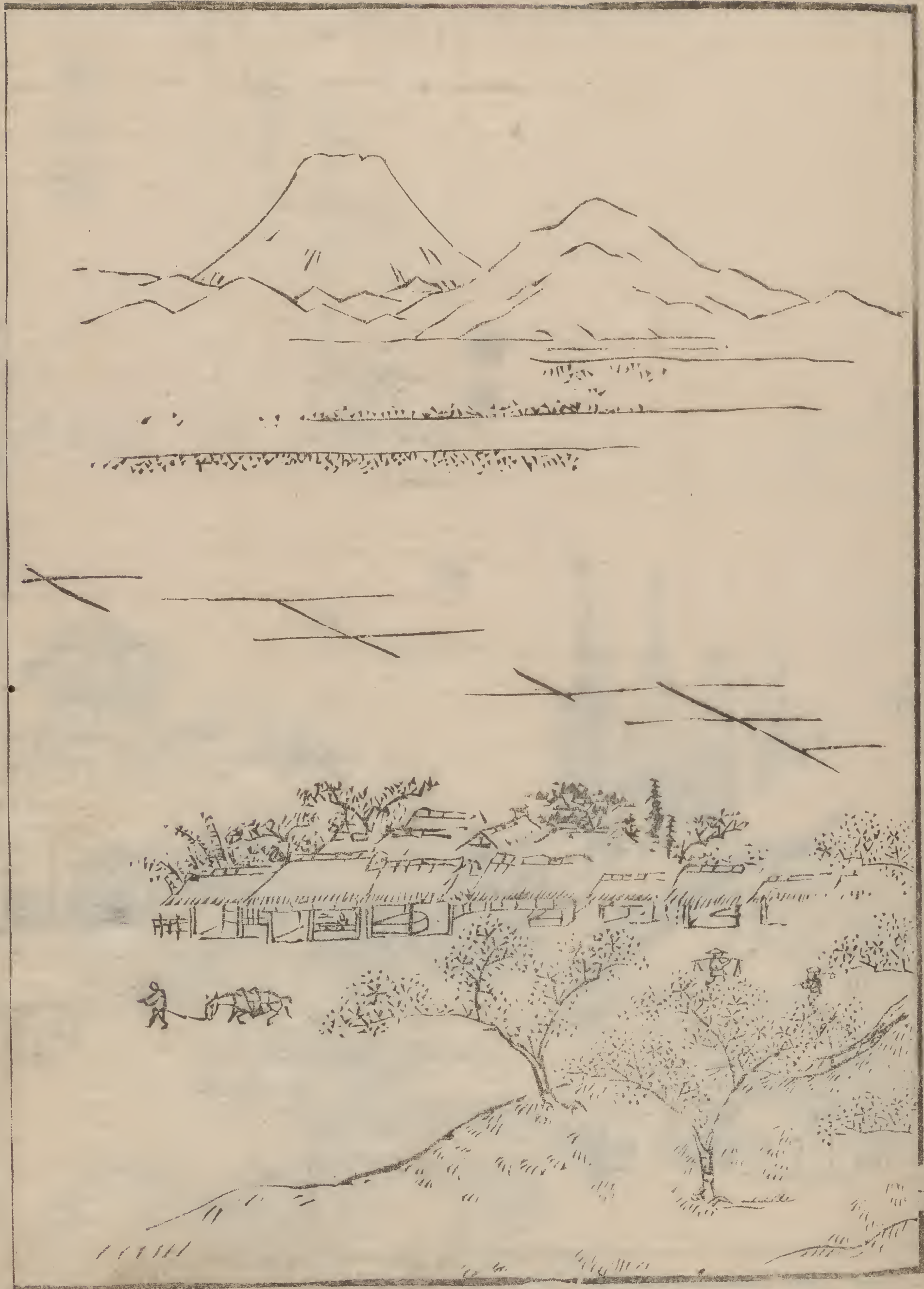
の

里

の

橋





飛鳥山

花のちり

おろしゆー

富士のちり

義松





撞木橋

修之

富吉小入の

あつた

柳至



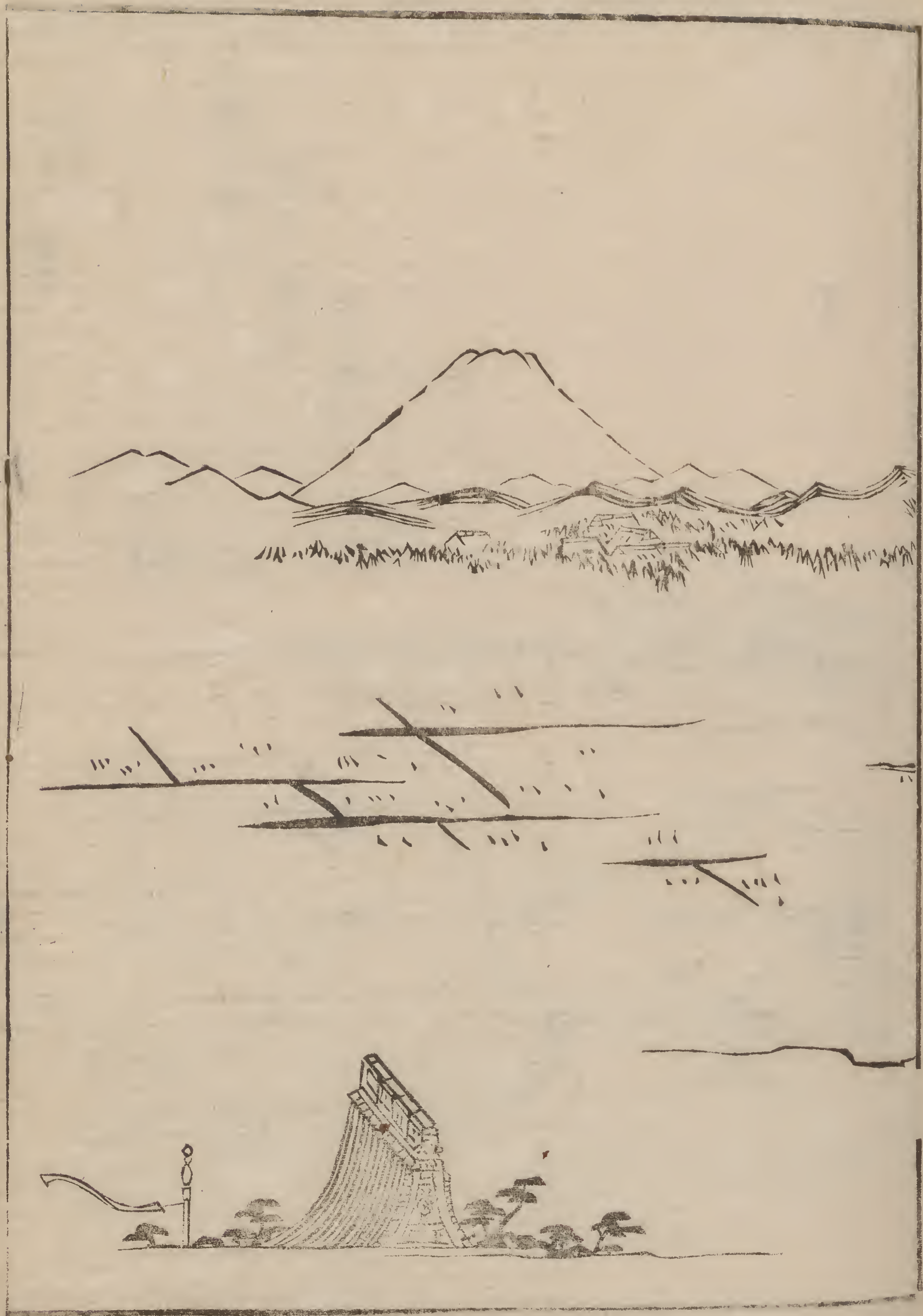
羅漢禪林

富士(向く)

中野(小高)

羅漢堂

大来

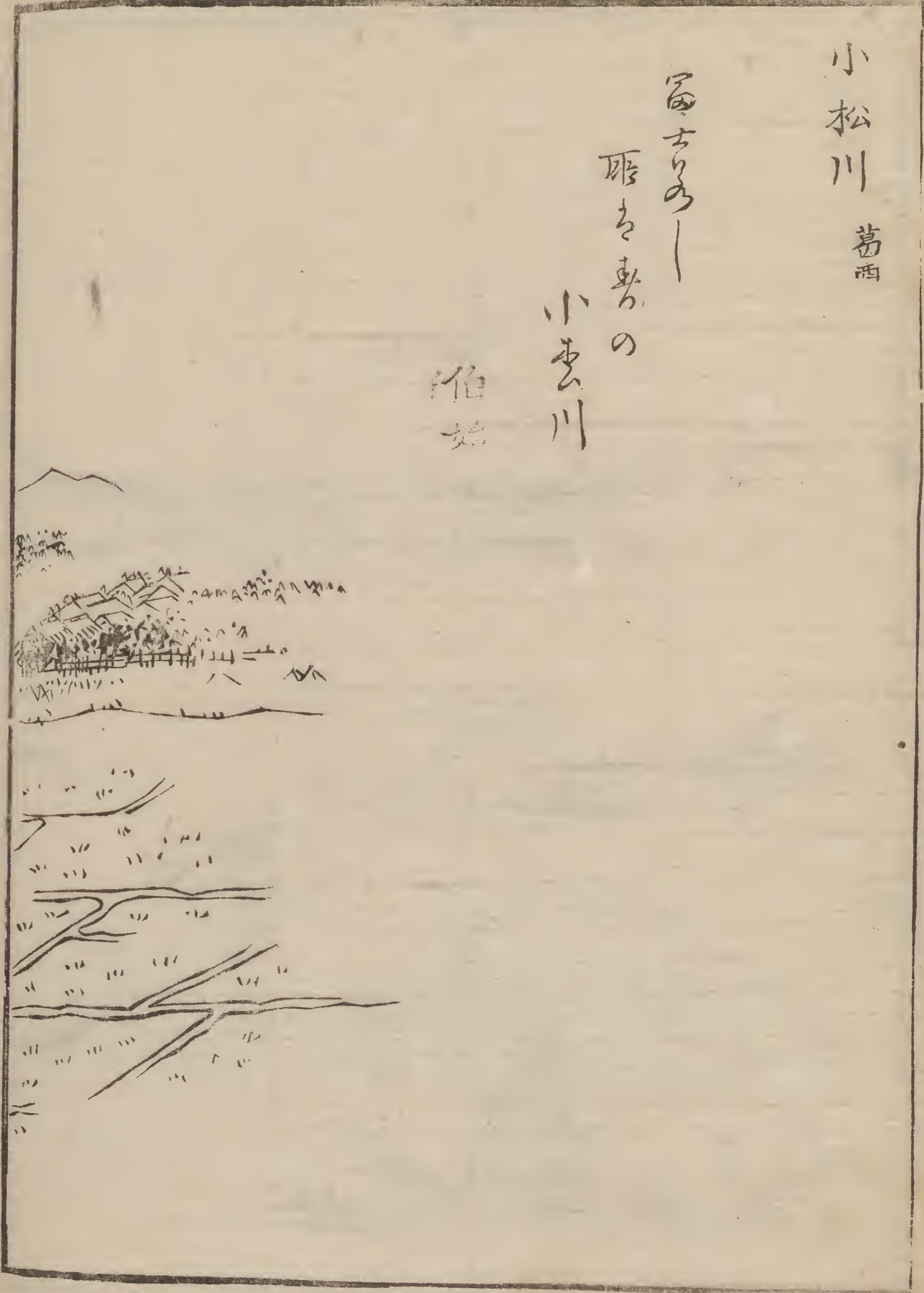




小松川 葛西

富吉の
原を
小松川

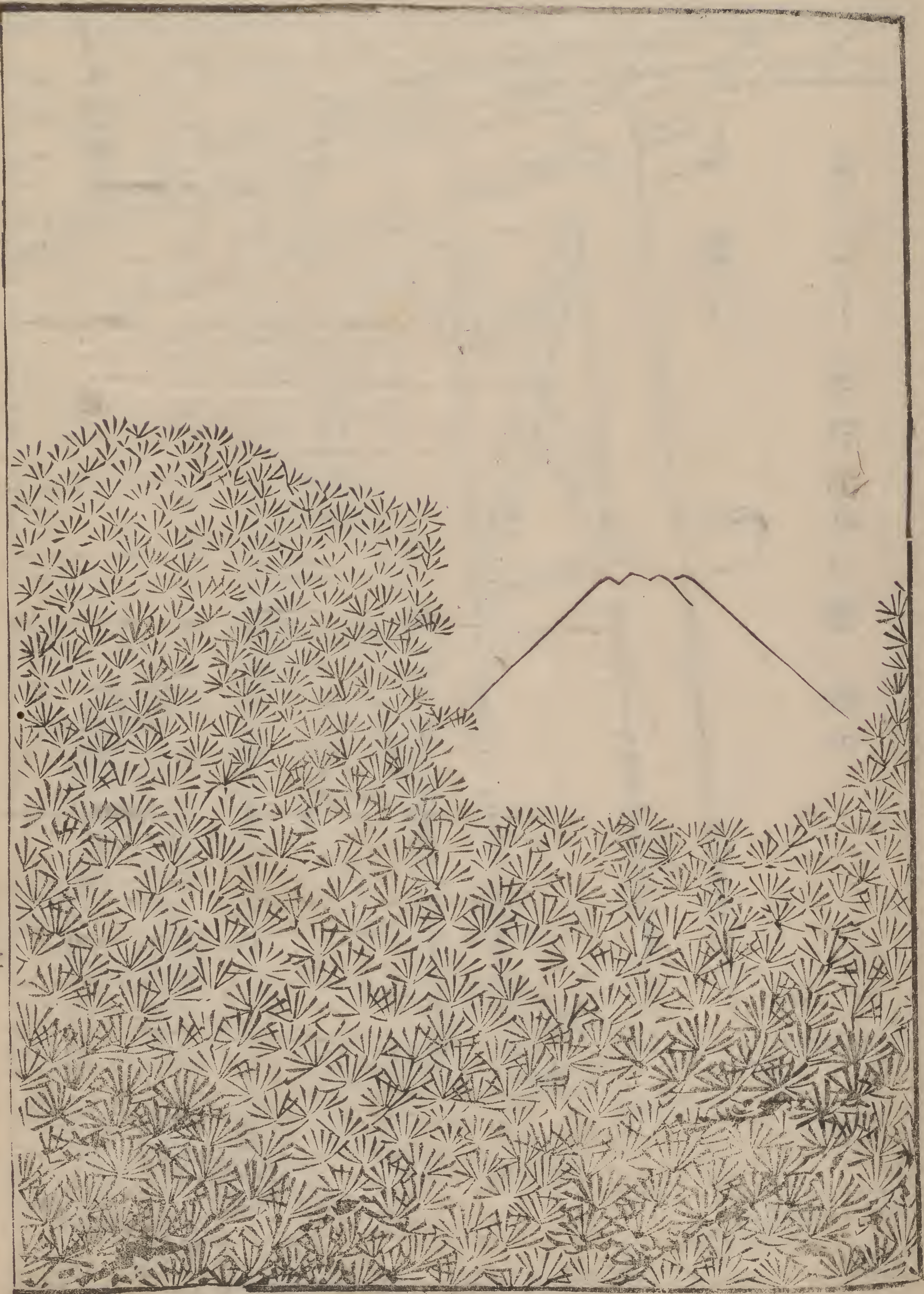
伯始

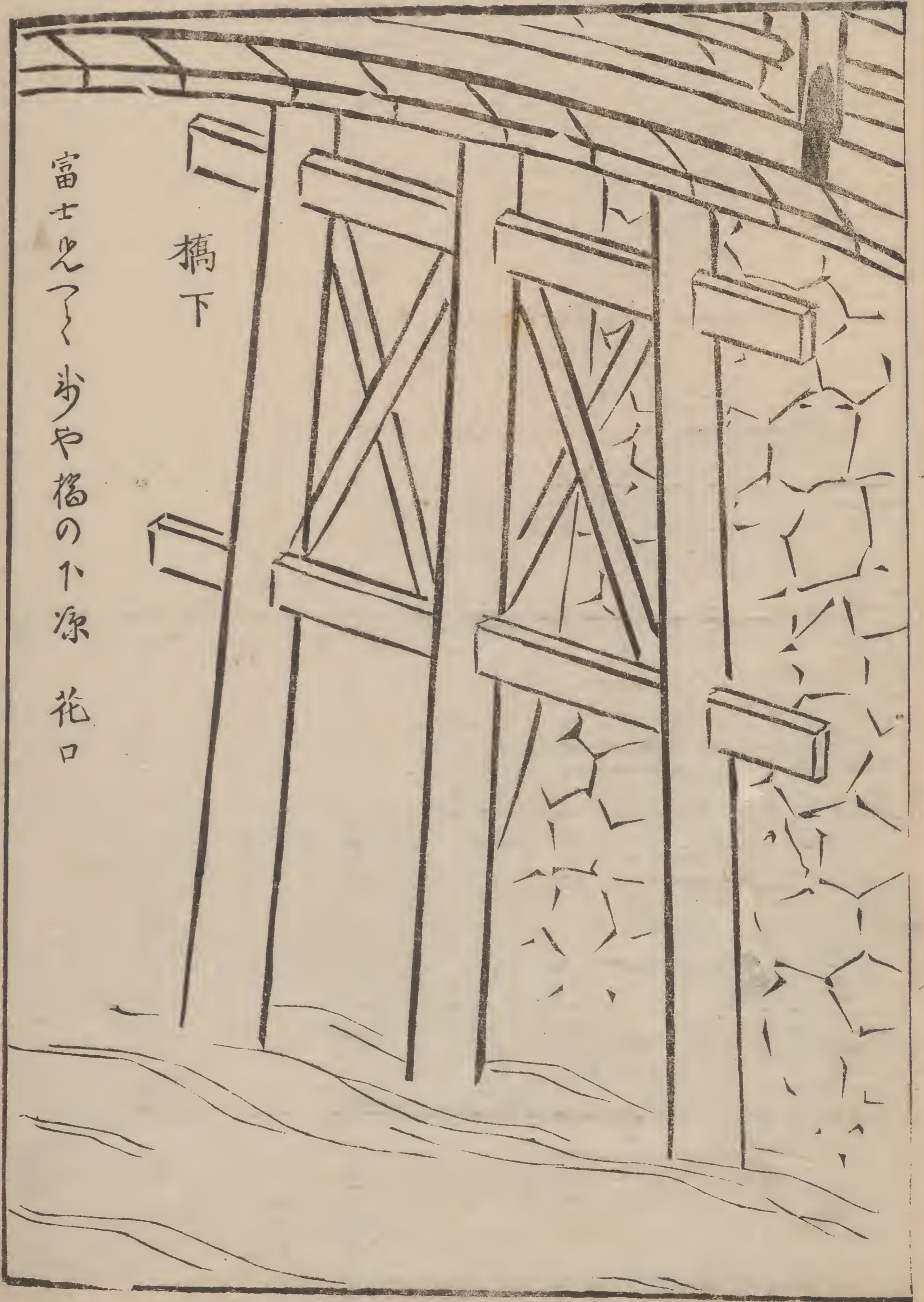


松間

秀出玉芙蓉不厭隔松樹
綠葉與山光相映自成趣

駿東 塩崎春稿





橋下

富士見了く少や橋の下原 花口

麥畑



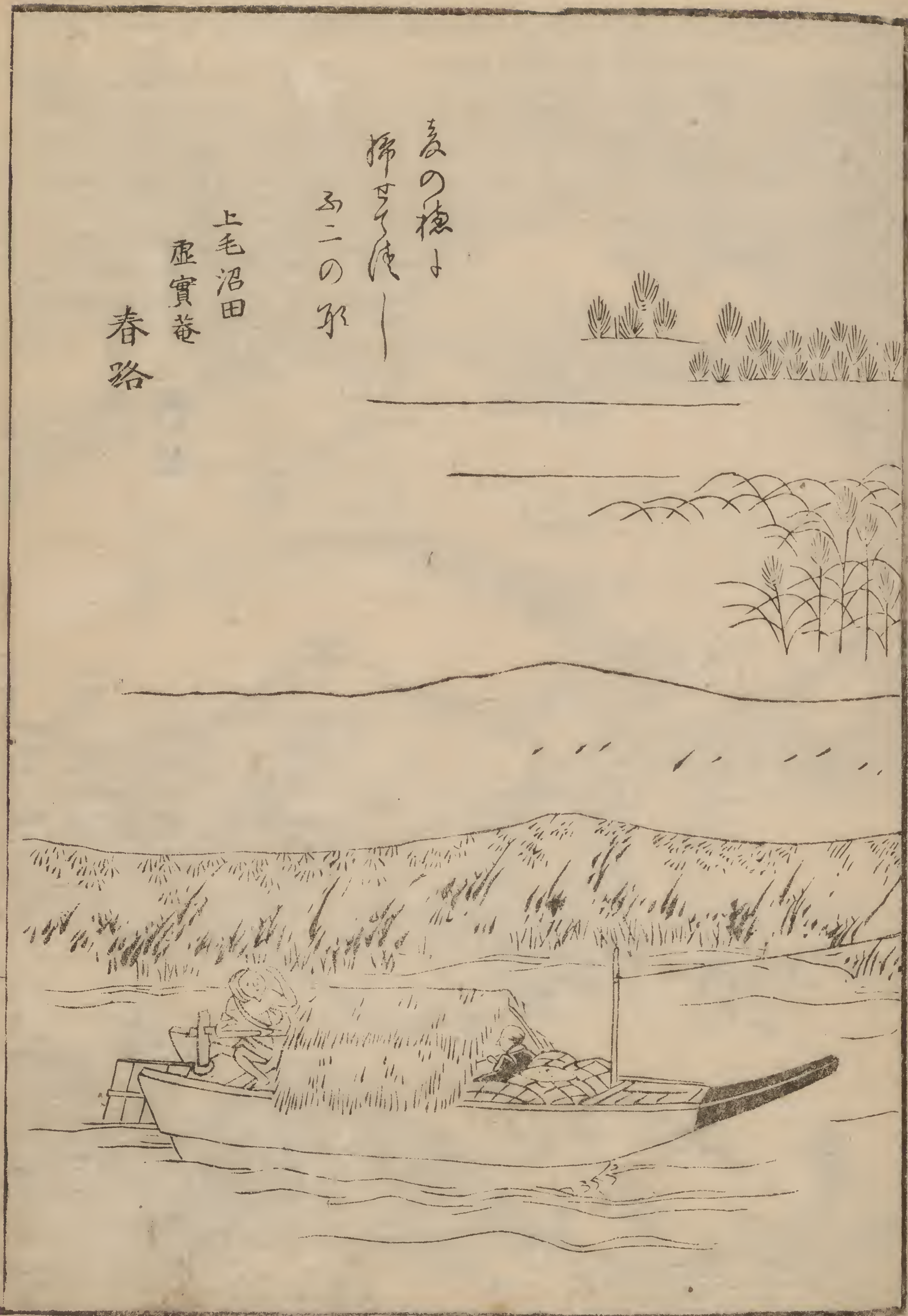
麦の穂
揺るる

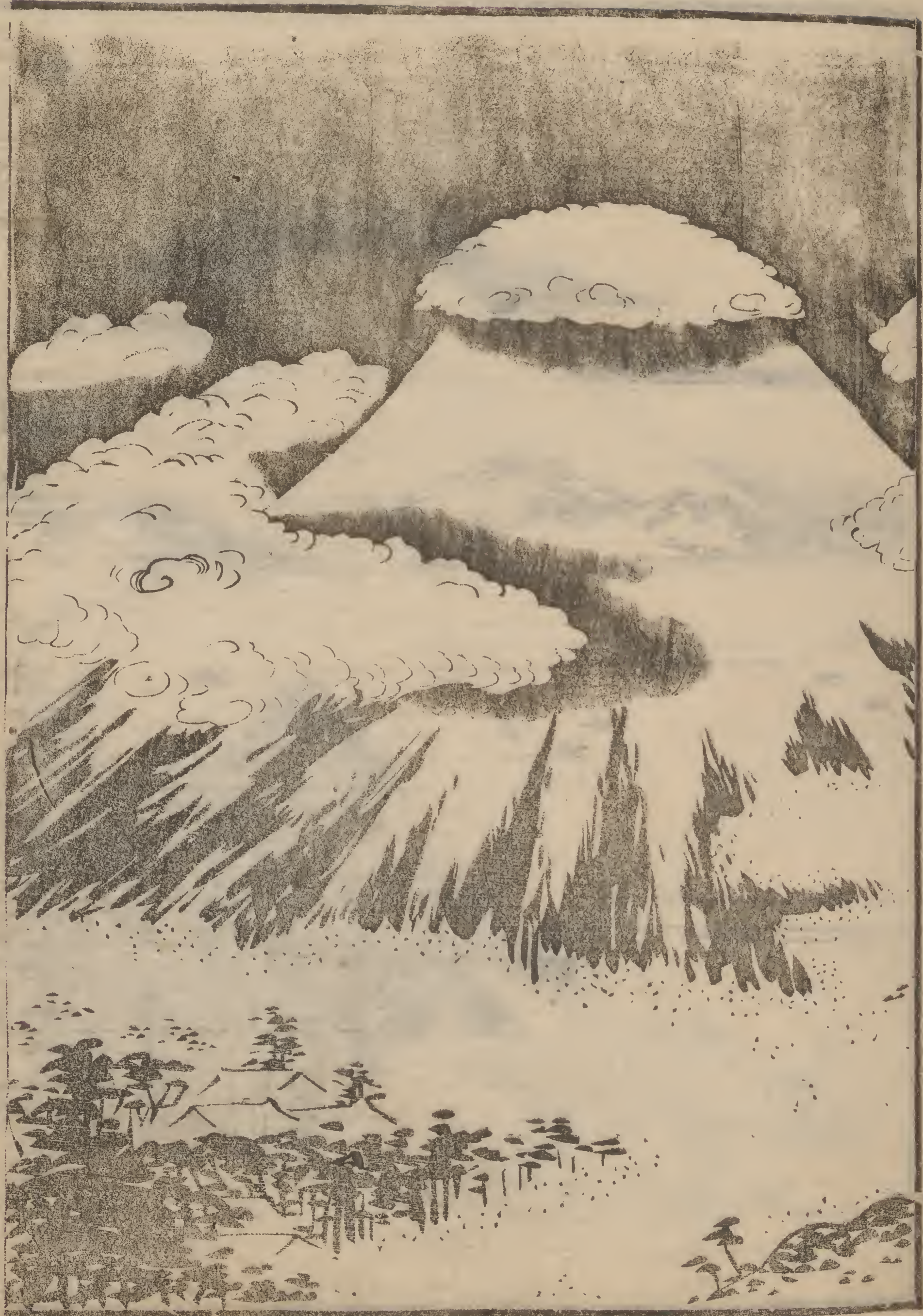
ふりの歌

上毛沼田

虚實菴

春路





笠

推己菴

栽松

富士詣

日く



富士の山

富士

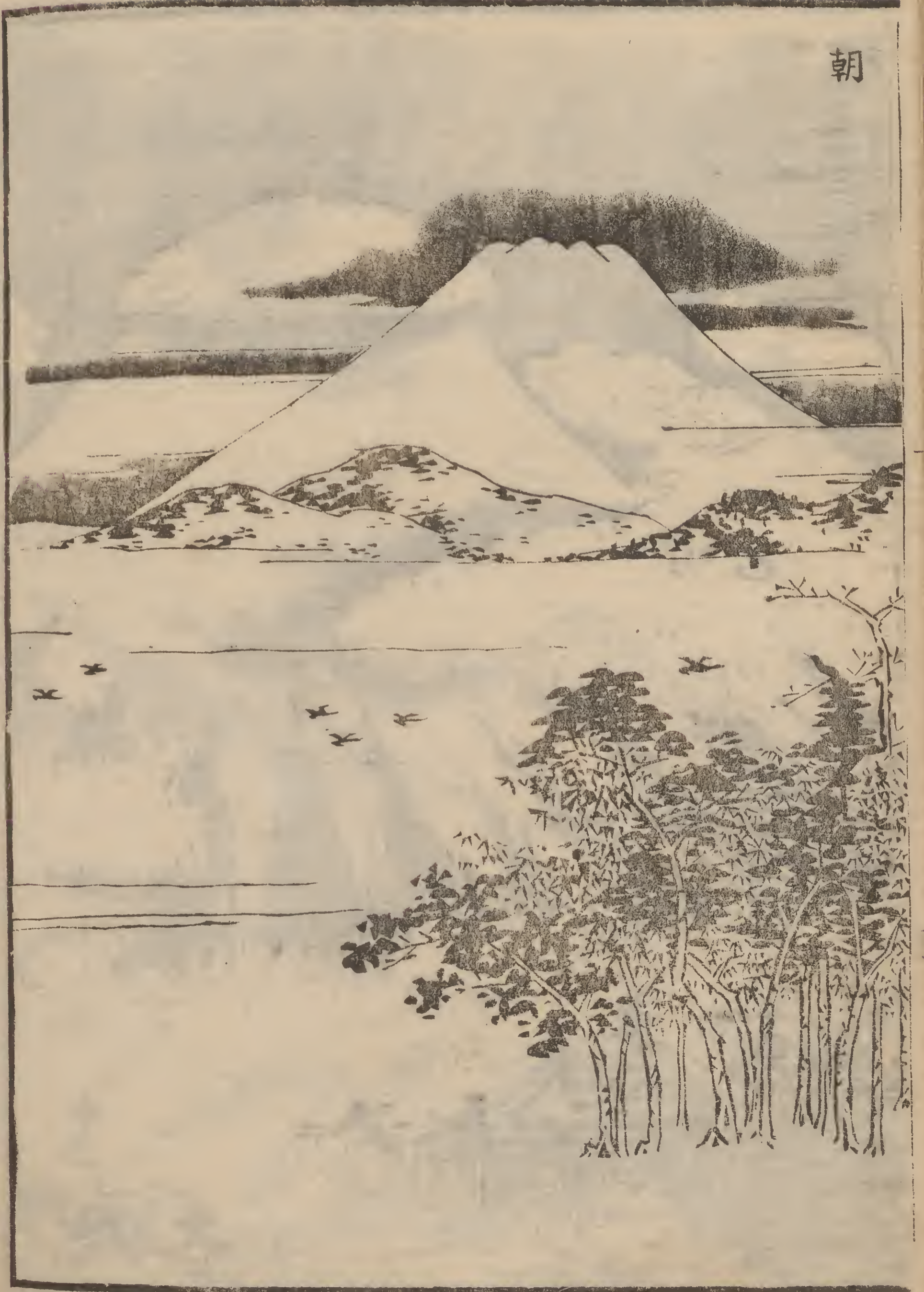
山

武山

耕雲舎

老村

朝



雪後



さうてよん

その名も

ふたに

ふーの松の

糸のうし

見ゆ

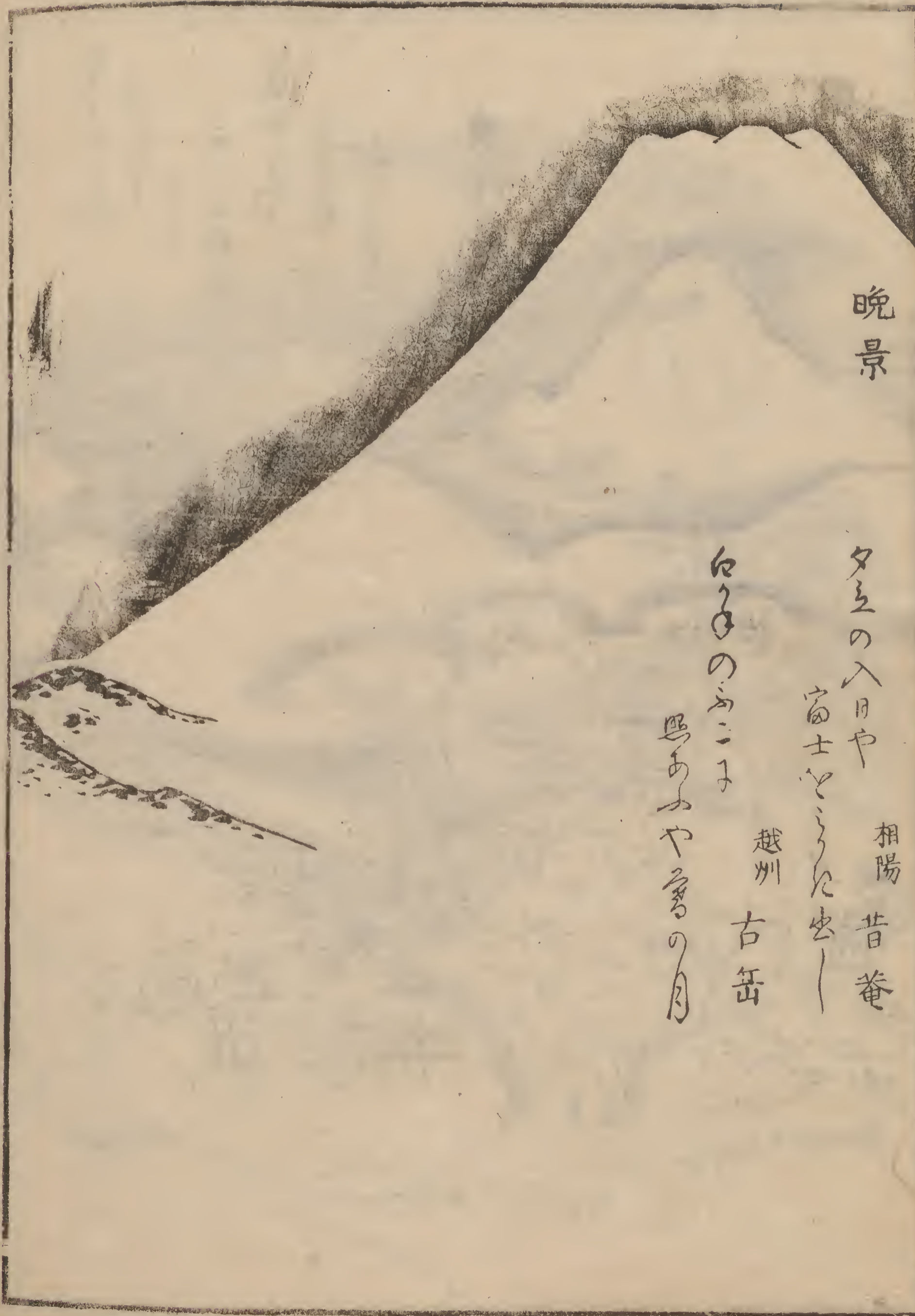
あしち

廣定





水



晚景

夕立の入りや

相陽

昔菴

富士とくたせし

越州

古岳

白子のふりし

馬あふやるの月



風

風の世家のふ

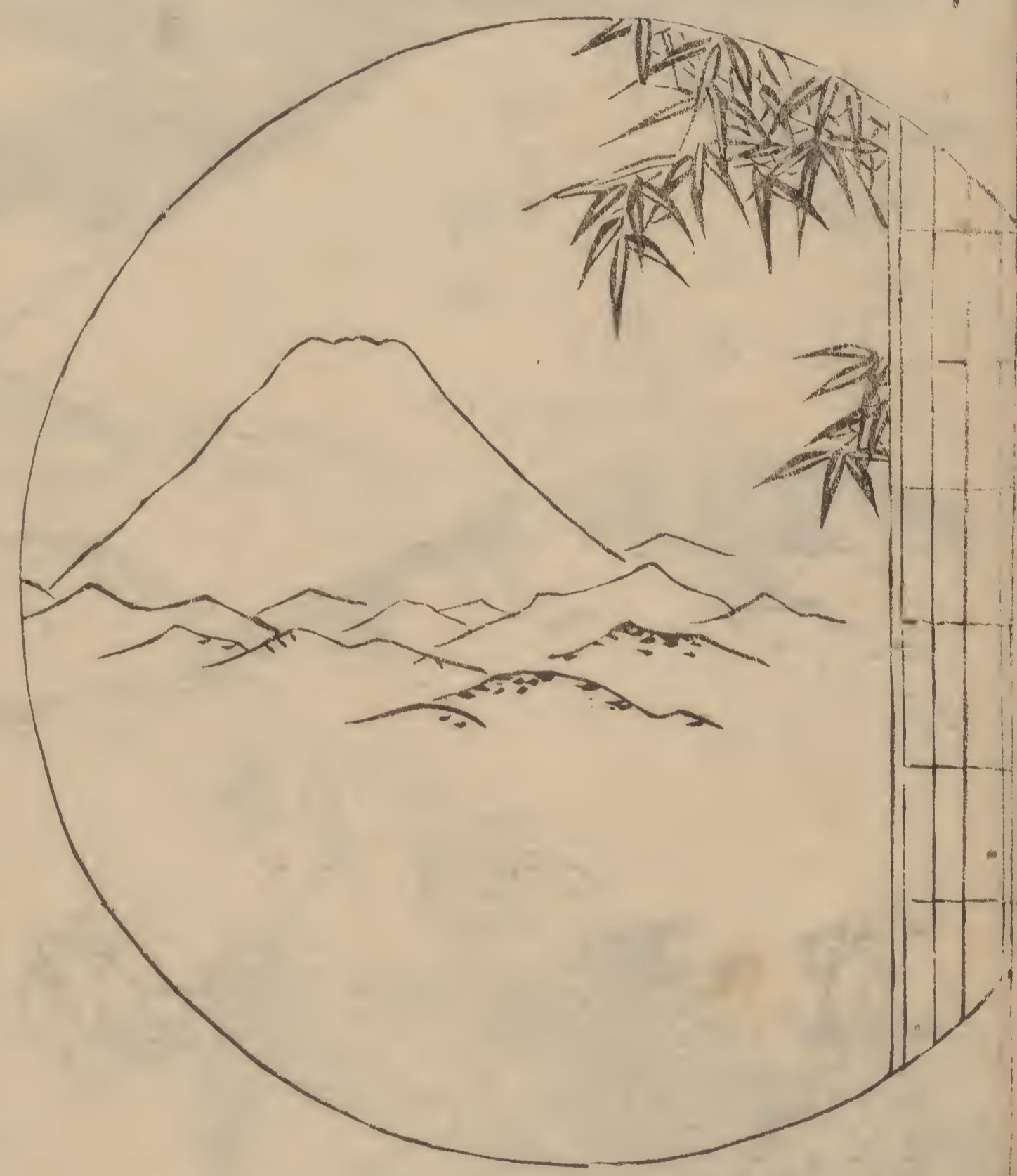
富士の巖

寧波樓

浙江



窓中



層々深み字も河々々窓の富士
再蝶

